

令和元年第8回西予市教育委員会定例会 会議録

I 開会の月日及び場所

令和元年8月27日(火)

西予市教育保健センター4階 第二研修室

II 定数

5人

III 出席者

|     |       |    |       |
|-----|-------|----|-------|
| 教育長 | 松川 伸二 | 委員 | 樋口 美和 |
| 委員  | 平岡 長治 | 委員 | 古谷 和彦 |
| 委員  | 酒井 郁子 |    |       |

IV 欠席者

なし

V 議事に出席した公務員の職氏名

|           |       |          |       |
|-----------|-------|----------|-------|
| 教育部長      | 宇都宮 裕 | 教育総務課長   | 垣内 俊樹 |
| 学校教育課長    | 富永 達也 | 生涯学習課長   | 竹内 克之 |
| スポーツ・文化課長 | 谷口 佳代 | 明浜教育課長   | 浜田 喜基 |
| 野村教育課長    | 岡上 昌造 | 城川教育課長   | 久保田 修 |
| 三瓶教育課長    | 滝野 広明 | 教育総務課長補佐 | 麓 寿春  |
| 学校教育課長補佐  | 井関 修三 | 教育総務課主査  | 稲口 智博 |

VI 傍聴者

5人

VII 会議の概要

1 開会

教育長

午後3時開会を宣する。

傍聴者は、傍聴規則を遵守するようお願いする。

本日の定例教育委員会は、日程を変更して「議案第18号令和2年度使用小学校教科用図書採択について」及び「議案第19号令和2年度使用中学校教科用図書(特別の教科 道徳を除く)の採択

について」の議案審議を先に行うことについて諮る。

全委員 異議ない旨答える。

## 2 案件

○議案第 18 号 令和 2 年度使用小学校教科用図書の採択について

教育長 事務局の説明を求める。

学校教育課長 令和 2 年度使用小学校教科用図書の採択について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 21 条第 6 号の規定により、採択を求める原案を説明する。内容の詳細については、担当者から説明する旨述べる。

教育長 内容の詳細について、説明を求める。

学校教育課長補佐 西予市教科用図書選定委員会より提出された選定結果を参考に慎重に検討した。採択したい教科用図書の教育委員会事務局案について教科・種目ごとに発行者名、提案理由の順で説明する。

・国語：光村図書

学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切な教材が選択されており、主体的な学び・深い学びが展開できる。

情報の扱い方や整理の仕方を繰り返し取り上げるなど、日常生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使うことができるよう配慮されている。

古典教材や報告文を書く活動を多数取り上げ、言語活動を通して伝え合う力を高め、思考力や想像力が養われるよう配慮されている。

5、6 年生は学年で一冊になっており、学習の振り返りもしやすい。

・書写：教育出版

学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切な教材が選択されており、毛筆と硬筆の学習を関連させやすい。

運筆や筆圧について、イラストや数値を交えて解説するなど、基礎的・基本的な知識や技能が身に付くよう配慮されている。また、手本の文字に立体感があって筆遣いが分かりやすい。

日常生活の中に使われている文字を取り上げたり、活字と手書き文字の違いを紹介したりするなど、文字への興味・関心を高める工夫がされている。

・社会：東京書籍

学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切な教材が選択され、見通しをもった学習ができるように配慮されている。

学習した内容を自分の言葉でまとめ、地域や社会に発信する学習が位置付けられている。

4年生では、愛媛県の伝統や文化を取り上げた問題解決的な学習を展開するなど、よりよい社会を考え、主体的に問題解決しようとする態度が養われるよう配慮されており、児童が興味をもって意欲的に学習に取り組みやすい。

・地図：帝国書院

日本地図や世界地図、日本と世界の国々との関わりを表した歴史地図を大きく掲載するなど、系統的・発展的に構成されている。

国内の各地方を取り上げた「広く見わたす地図」のページを設けているので、都道府県の特色や位置関係、結び付きをとらえやすい。

印刷がきれいで、文字が見やすいため、地名等を探す際に見つけやすい。

巻末の資料図には、災害についても分かりやすく取り上げられており、調べ学習にも活用できる。

・算数：啓林館

学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切な教材が選択されており、重要なポイントが視覚的に分かりやすくまとめられている。

新しい単元に入る前に、既習事項の確認ができる問題を取り上げたり、中学校の学習の素地となる内容を取り上げたりするなど、系統的・発展的に構成されている。

基礎的・基本的な概念などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能が身に付くよう配慮されている。

・理科：学校図書

学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切な教材が選択されており、児童の興味・関心を高めるようなよい写真やイラストがふんだんに使われている。

既習内容の知識や経験などを踏まえて思考することができるよう、問題を見つける場面を重視したり、各単元の扉に当たるページ

に全単元の目次を示したりするなど、系統的・発展的に構成されている。

愛媛県の地域素材を複数取り上げるなど、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度が養われるよう配慮されている。

・生活：東京書籍

学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切な教材が選択されており、児童の発達の段階に適応している。

サイズは大判で見やすく、児童の意識の流れに沿う吹き出しの言葉、挿絵、写真が数多く用いられており、全体的に明るい印象である。

気付いたことを基に考えるための、多様な学習活動や表現活動、交流活動を取り上げるなど、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるよう配慮されている。

・音楽：教育芸術社

学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切な教材が選択されており、児童の発達の段階に適応している。

音符や休符、記号を書いて練習するスペースを設けるとともに、3年生以上では、6年間で学習する音符や休符、記号を全て掲載するなど、系統的・発展的に構成されている。

「音楽づくり」の活動では、活動の手順や児童の作品例、ワークシート例を具体的に示すなど、音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるよう配慮されている。

・図画工作：開隆堂

学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切な教材が選択されており、児童の発達の段階に適応している。

脚注に、他教科等との関連を示すなど、系統的・発展的に構成されている。

制作過程でのつぶやきや友達とのやり取りを吹き出し等で表すとともに、児童の表情が分かる大きな写真を掲載するなど、児童が造形活動に意欲的に取り組めるように配慮されている。

身近な生活の中で見られる美術作品等を取り上げるなど、つくりだす喜びを味わい、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度が養われるよう配慮されている。

・家庭：開隆堂

学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切な教材が選択されており、文字も大きめで読みやすく、AB判で扱いやすい。

巻頭に、家庭科と他教科等との関連をイラストで掲載し、巻末には中学校との学習内容のつながりを示すなど、系統的・発展的に構成されている。

題材の導入には学習のめあてが分かりやすく示してあるので、児童が見通しをもって学習しやすい。また、単元の終わりには振り返りの欄を設けるなど、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能が身に付くよう配慮されている。

・保健：学研教育みらい

学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切な教材が選択されており、児童の発達の段階に適応している。

統一したマークを用いて、他教科との関連や学習形態などを具体的に示すなど、系統的・発展的に構成されている。

校医や養護教諭などの身近な人物をキャラクターとして活用し、学習内容に関する様々な視点からの情報を掲載するとともに、現代的な健康課題や新たな追究活動につながる事例、資料を掲載するなど、健康についての自己の課題を見つけ、解決に向けて思考し、判断する力が養われるよう配慮されている。

・英語：教育出版

学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切な教材が選択されており、児童の発達の段階に適応している。

言語活動の質が段階的に高まるよう、各単元に「Activity」と「Final Activity」のコーナーを設けるなど、系統的・発展的に構成されている。また、ワークシートやシールなどの資料を数多く準備するなど、本文や資料などの関連は適切である。

聞いたり話したりする活動のコーナーを随所に設け、各単元末に自分のことを伝える活動を設定するなど、基礎的な技能が身に付くように配慮されている。

・道徳：学研教育みらい

学習指導要領に示されている目標・内容に照らし、適切な教材が選択されており、児童の発達の段階に適応している。

「生命の尊さ」に関する教材を多数取り上げるとともに、ユニット「いのち」を配列するなど、系統的・発展的に構成されている。また、製本サイズがA4判で、文字が大きく読みやすい。

教材での学習を基に、自分の生活を考える「つなげよう」のページを設けるなど道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度が育つよう配慮されている。

教育長

これまで各委員には、実際に教科書をご覧になれる他、各種資料を参考に精査されてきたと思うが、意見をいただきたい旨述べる。

樋口委員

教科書の採択に当たっては、愛媛県教育委員会の採択基準や選定資料を参考に、多くの会社が作った教科書を読ませていただいた。

どの教科書もよく出来ていて甲乙つけ難かったが、選考委員会からの報告書を読み、私なりに考えさせていただいた。また、選定委員会報告書ではグループに分かれて、熱心に討議が行われた様子を読み取り、大変有難く思う。

その中でも、私の興味深い教科である音楽の教科書では、1年生から6年生までの学年ごとに、教科書を開いた最初のページに1年間に学習する内容を分かりやすくまとめており、写真や挿絵もよく考えられている。楽器について説明するより、実際に楽器を見た方がよく分かると思うが、楽器ごとに実際に演奏している姿を写しているのは、分かりやすく適切ではないかと思う。

次に生活の科目では、この教科の教科書は、1年生がこれから始まる長い学校生活のスタートブックとして、1年生がまずは机の前に座って「勉強するぞ」、という気持ちを高めていける教科書が良いと思う。東京書籍が提案されているが、特長は教科書が大きく、全体的に挿絵の表現が優しく、名前のついたキャラクターが教科書のそこここに描かれていて、面白い内容であると思う。

以上の理由により、教育委員会事務局案が良いと思う旨述べる。

古谷委員

事前に教科書を渡していただいていたので読ませていただいた。算数、理科、外国語において提案されている教科書について意見を述べたい。

まず算数について啓林館が提案されているが、巻末に「じゅんぴ」のページを設けて、既習事項の確認ができるように工夫されている。単元の最初には、その単元に関係のある写真や生活の中の場面を取り上げており、日常生活の問題から学びにつなげていけるように工夫されている。また、巻末の「学びのサポート」では難易度

別の問題が示されており、数直線の書き方や自分の考えを分かりやすく説明する方法など、基本的な内容も取り上げている。6年生の教科書では、中学校への興味付けをするページが設けられており、色々な場面で工夫されていると感じた。

次に理科については学校図書が提案されているが、単元の始まりに、これから学ぶ課題を含んだ写真を取り上げ、その写真から子供たちが、話し合いにより問題を見つけていくよう、与えられた問題ではなく、子供が解決したくなるような工夫がされている。各ページの下には、問題解決の流れが示されており、今どこの段階を勉強しているのかが分かるようになっている。また4年生と6年生では、愛媛県内の地域素材が複数取り上げられており、大変良い内容と感じた。

次に、英語は今回が初めての採択となる。勉強する流れとして、映像を見て概要をとらえ、聞いて慣れ親しみ、発信活動につなげていく流れになっている。単元の終わりには、自分のことを伝える活動を取り入れており、子供たちの「やってみたい」という気持ちを高める構成がなされている。他教科との関連としては、低学年の道徳や国語の教科など、今まで他の教科で勉強した内容も題材として取り入れており、内容が分かっているため、安心して取り組めると思う。また、シールが多くわくわく感があると感じた。

以上、この3教科を含め、その他の教科においてもそれぞれ工夫されており、教育委員会事務局から提案のあった教科書の採択について賛成する旨述べる。

酒井委員

社会科について、東京書籍が提案されているが、5年生、6年生においては、使いやすくそれぞれ2冊に分冊されており、児童にとっては年度途中でも、1冊目から2冊目に移ることで新たな期待感や興味関心が湧くのではないかと思う。教材の中では14ページにわたり愛媛県の題材が取り上げられているとともに、西予市内の題材も写真で掲載されており、身近な題材から、児童が地域や社会を理解し、興味関心をもって意欲的に問題解決をする力が養われることが期待でき、適切ではないかと思う。

次に道徳の科目について、提案された学研教育みらいの教科書は、大判で文字が大きく見やすいと思う。別の教科書では別冊ノートがある教科書もあったが、授業の中で書く時間を多く取るよりかは、適度に書くスペースがある教科書の方が良いのではないかと思う。内容については、生命の尊さに関するものなど多様な教材が掲

載され、その教材ごとに考え、話し合う視点が示されており、学習をより深めることができるようになってきていると思う。その学習を基に、自分の生活を考え、道徳的な心情や実践意欲と態度が育つよう配慮されていると思う。

以上のことから、教育委員会事務局から提案のあった教科書について賛成する旨述べる。

平岡委員

国語について、光村図書が提案されているが、各教材の後にある「学習」のページでは、学習の進め方や学習を進めていく上でのヒントが大変充実しており、児童が学習を深め、まとめたりすることが良くなるようになってきていると思う。また、生活の中での季節を表す言葉や季節感のある短歌、俳句の他、高学年では古典、漢文などの日本の言語文化や、伝統文化を多く取り上げ、これらを大事にしている特色があると思う。漢字や言葉の学習では、系統的にまとめられており、説明が理解しやすく便利な教科書になっている。さらに、巻末の付録が充実している。まとめだけではなく、今後の発展的な学習をしていく教材も掲げられており、学習を進めていく上で有効な付録になっている。このようなことから光村図書が適切ではないかと私も感じた。

次に保健について、学研教育みらいの教科書が提案されているが、図、写真、絵が大変はっきりしていて、非常に見やすいものになっており、小学生が見るには好ましいものであると思う。体や心の発育、発達について学ぶ題材では、子供たちは心の中で小学生なりに悩む場面もあるかと思うが、そういった時には、それぞれ個人差があっても大丈夫であることを、分かるように配慮した記述になっている。また、適度に記述できる欄が設けられ、欄の大きさなども適切ではないかと思う。さらに、ところどころに「実習」という項目を取り上げ、保健で学んだことを、実際の生活の中で役立てることを重視した教科書になっており、そのような点からも、学研教育みらいが優れているのではないかと思う。

次に道徳の教科書について、先ほどご意見があったが、私も学研教育みらいの教科書が適切ではないかと思う。大変豊かな内容の題材が、幅広くバランス良く取り上げられており、また各学年の教科書の最初には、質の良い巻頭言が掲げられている。5年生の教科書の巻頭言では、子供たちがこれから人生を歩いていく上での、生き方の指針になると感じられる内容となっており、大変よく出来た教科書であると思う旨述べる。



- 教育長 それぞれの委員より意見をいただいたが、全体を通して他の意見について求める旨述べる。
- 全委員 特になし。
- 教育長 採決に移る旨諮る。
- 全委員 異議ない旨答える。
- 教育長 各委員より意見を述べていただいたが、教育委員会事務局案の教科書で異論はなかったと思う。
- 採決方法について、今回 13 の教科書を選定することになるが、教科書ごとに採決とするか、全教科一括の採決とするのかを諮る。
- 樋口委員 他の意見もなかったため、一括での採決で良い旨答える。
- その他委員 異議ない旨答える。
- 教育長 原案について賛成の委員の挙手を求める。
- 全委員 全員挙手する。
- 教育長 挙手全員であるため、原案のとおり可決決定する旨宣する。
- 議案第 19 号 令和 2 年度使用中学校教科用図書（特別の教科 道徳を除く）の採択について
- 教育長 事務局の説明を求める。
- 学校教育課長 令和 2 年度使用中学校教科用図書の採択について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 21 条第 6 号の規定により、採択を求める原案を説明する。内容の詳細については、担当者から説明する旨述べる。
- 教育長 内容の詳細について、説明を求める。
- 学校教育課長補佐 令和 3 年度から新学習指導要領が実施されるため、今回採択する教科用図書の使用は令和 2 年度のみ 1 年間となる。併せて今回は、平成 30 年度検定において、新たな図書の検定申請がなかったため、すでに調査研究を行っている平成 26 年度検定合格図書等の中から、再度採択を行うことになる。
- 教育委員会事務局で、これまで 4 年間使用してきた実績や過去の調査研究結果等を踏まえて慎重に検討した結果、現在使用している教科用図書がふさわしいと考えるため、今年度使用している教科用図書と同じものを採択したい旨提案し、教科・種目ごとに発行者名の順で説明する。
- 国語：光村図書、書写：東京書籍、社会（地理的分野）：帝国書院、社会（歴史的分野）：東京書籍、社会（公民的分野）：日本文教出版、地図：帝国書院、数学：啓林館、理科：東京書籍、音楽（一般）：教育芸術社、音楽（器楽合奏）：教育芸術社、美術：日本文教

出版、保健体育：学研教育みらい、技術・家庭（技術分野）：開隆堂、技術・家庭（家庭分野）：開隆堂、英語：学校図書

- 教育長 原案について意見を求める。
- 樋口委員 教科書は、令和2年度まで、今使っている教科書と同じ教科書を使用するということか問う。
- 学校教育課長 令和2年度までの使用となる旨答える。
- 樋口委員 令和2年度に新たに選定となり1年間だけの使用となるため、現在使用している教科書を、引き続き1年間使用することで良い旨答える。
- その他委員 特になし。
- 教育長 原案について賛成の委員の挙手を求める。
- 全委員 全員挙手する。
- 教育長 挙手全員であるため、原案のとおり可決決定する旨宣する。  
暫時休憩し、午後3時55分再開する旨宣する。

【暫時休憩】

- 教育長 午後3時55分再開を宣する。
- 3 会議録の承認
- 教育長 令和元年第7回教育委員会定例会会議録について意見を求める。
- 全委員 特になし。
- 教育長 令和元年第7回教育委員会定例会会議録の承認について諮る。
- 全委員 異議ない旨答える。
- 教育長 第7回教育委員会定例会会議録を承認する旨宣する。
- 4 行事報告及び行事予定について
- 教育長 8月5日から8月16日まで生徒国際交流事業が実施され、西予市内の中学3年生男女13名が参加し、ニュージーランドで語学研修や文化学習などを行った旨報告する。  
9月行事予定について報告を求める。
- 教育総務課長 9月行事予定について報告する。あわせて令和元年第9回教育委員会定例会の開催日程について、9月24日（火）午後3時から開催する旨提案する。
- 教育長 行事報告及び行事予定について意見を求める。
- 全委員 特になし。
- 教育長 令和元年第9回教育委員会定例会の開催日程について意見を求める。
- 全委員 特になし。

- 教育長 令和元年第9回教育委員会定例会を9月24日（火）午後3時から開催する旨宣する。
- 5 その他
- 教育長 その他の件について意見及び報告を求める。
- 教育総務課長 特になし。
- 全委員 特になし。
- 6 閉会
- 教育長 午後4時5分閉会を宣する。

議事録署名

以上、令和元年第 8 回西予市教育委員会定例会の顛末を記録して相違ないことを証明する。

令和元年 9 月 24 日

教育長

松川 伸 二

教育委員

樋口 美和

教育委員

平岡 長治

教育委員

古谷 和彦

教育委員

酒井 郁子